

令和8年度

「運営に関する計画」

年初計画

大阪市立田中小学校

令和8年4月

1 学校運営の中期目標 (令和11年度末までに達成を目指す目標)

現状と課題

「豊かな心を持ち、経験や体験を大切に、基礎基本を基に自ら考えて行動できる『たなかの子ども』の育成」を中期目標に掲げ、基礎基本の定着に向けて取り組みを進めてきた。児童の学校生活態度は落ち着いており、いじめについては、早期発見・早期対応により、深刻化しないうちに解決できている。しかし、不登校児童は毎年一定数いる現状がある。

学力については、校内研究実践を通して「より豊かな自己表現力の育成」をめざし、今年度は特に「言語力」の向上に焦点をあてる。経年調査の平均正答率は、全国と比較して、1つの学年が上回り、3つの学年が下回ったが、前年度と比較すると、対象の3つの学年のうち2つの学年が上昇している。

学習用端末活用率が高くなってきており、より授業時での活用を図っていく。また、「心の天気」の活用率を高め、児童の心の健康状態の把握を強化していく。

働き方改革については、行事や会議の見直しを図ったり、専科制や定時セットデーの設定が定着したりしてきた。教職員が協力して取り組んでいる強みを活かし、より働きやすい環境づくりを進めていく。

中期目標**【安全・安心な教育の推進】**

- 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を87%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることができているか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。
- 学校児童アンケートにおける「いじめは絶対にいけないと思う。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を毎年92%以上に保つ。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。
- 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点の対全国比を男女ともに令和7年度(男子0.87、女子0.93)よりも0.04ポイント向上させる。
- 学校児童アンケートにおける「運動をすることは好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を毎年90%以上に保つ。

【学びを支える教育環境の充実】

- 小学校学力経年調査における「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を80%以上にする。
- 教員の1か月当たりの平均時間外勤務時間を月平均20時間以下にする。

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【安全・安心な教育の推進】

- 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 80.1%以上【前年度 80.0%】にする。
- 小学校学力経年調査における「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることができているか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 77%以上【前年度なし】にする。
- 学校児童アンケートにおける「いじめは絶対にいけないと思う。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 92%以上に保つ。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 77%以上【前年度なし】にする。
- 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点の対全国比を男女ともに令和 7 年度（男子 0.87、女子 0.93）よりも 0.01 ポイント向上させる。
- 学校児童アンケートにおける「運動をすることは好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 87%以上に保つ。

【学びを支える教育環境の充実】

- 小学校学力経年調査における「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週 3 回以上と回答する児童の割合を 70%以上にする。
- 教員の 1 か月当たりの平均時間外勤務時間を 23.4 時間以下【前年度 23.5 時間】にする。

3 本年度の自己評価結果の総括

大阪市立田中小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】</p> <p>○小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80.1%以上【前年度80.0%】にする。</p> <p>○小学校学力経年調査における「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることができますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を77%以上【前年度なし】にする。</p> <p>○学校児童アンケートにおける「いじめは絶対にいけないと思う。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を92%以上に保つ。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>○いじめ(いのち)について考える日での指導、情報モラル教育の全学年での実践などを行い、いじめの未然防止に努める。また、いじめの早期発見・解決のために、定期的にいじめアンケートや児童支援委員会を行ったり、スクールライフノートの相談申告機能を活用したりして、全教職員の共通理解のもと、組織的に対応し解決を図る。</p> <p>○学校行事や児童会活動、学級活動等、日々の教育活動を充実させることで、子どもたちにとって「楽しい」学校づくりを進める。</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童アンケートの「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。」の項目に対して、肯定的な「思う」と回答する児童の割合を92%以上に保つ。(R7:94.0%) 児童アンケートの「学校に行くのは楽しいと思いますか。」の項目に対して、肯定的な「思う」と回答する児童の割合を前年度以上にする。(R7:91.0%) 	
<p>取組内容②【豊かな心の育成】</p> <p>○児童会活動を中心とした異学年交流やキャリアパスポートの活用により、自己肯定感を高め、自分のよいところに積極的に気づける子どもを育成する。</p> <p>○ゲストティーチャーによる豊かな体験活動の実施により、一人ひとりの違いを認め合える集団作りに努める。</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 年間3回以上、学期末や行事ごとに、キャリアパスポートを活用する。 児童アンケートの「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることができますか。」の項目に対して、肯定的に回答する児童の割合を77%以上にする。(R7:なし)(※R8以降の児童アンケートに質問項目を追加※) 各学年でゲストティーチャーによる豊かな体験活動を年1回以上実施する。 	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

中間/年度末/次年度への改善点

大阪市立田中小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>○小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を77%以上【前年度なし】にする。</p> <p>○全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点の対全国比を男女ともに令和7年度(男子0.87、女子0.93)よりも0.01ポイント向上させる。</p> <p>○学校児童アンケートにおける「運動をすることは好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を87%以上に保つ。</p>	
年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>○1日1回以上、話し合い活動を取り入れた授業を実施する。</p> <p>○話し合い活動を円滑にするために、週1回の「ことば調べタイム」を実施する。</p> <p>○主体的・対話的で深い学びにつながる、ICTを活用した指導法を工夫する。</p>	
<p>指標</p> <p>・児童アンケートにおける「友だちと話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、<u>新たな考え方に気付いたりすることができている。</u>」に対して、肯定的な回答をする児童の割合を77%以上にする。</p> <p>(R7:なし)(※R8以降の児童アンケートの質問項目の文言修正<下線部>※)</p>	
<p>取組内容②【健やかな体の育成】</p> <p>○がんばりカードの活用や強調週間の設定による日々の運動に対する工夫により体力・技術の向上を図り、運動やスポーツの楽しさを実感する児童を育成する。</p> <p>○運動委員会の取り組み(ラジオ体操集会、なわとび集会など)により、児童が自主的に体を動かす機会を増やす。</p>	
<p>指標</p> <p>・児童アンケートにおける「運動をすることは好きですか。」に対して、肯定的な回答する児童の割合を87%以上に保つ。(R7:90.8%)</p>	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

中間/年度末/次年度への改善点

大阪市立田中小学校 令和 8 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標 3 学びを支える教育環境の充実】</p> <p>○小学校学力経年調査における「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週 3 回以上と回答する児童の割合を 70%以上にする。</p> <p>○教員の 1 か月当たりの平均時間外勤務時間を 23.4 時間以下【前年度 23.5 時間】にする。</p>	
年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【教育 D X の推進】</p> <p>○朝の学習タイムのうち週 2 回をデジタルドリルタイムとするとともに、タブレットを児童が持ち帰る機会を月 2 回以上作ることで、児童が日常的にタブレットを活用できるようにし、情報機器活用能力を高める。</p> <p>○授業で ICT を活用する場を増やし、1 日 1 回以上は ICT を活用する。 あわせて、『こころの天気』の日々入力(朝の入力をルール化)を進めていく。</p>	
<p>指標</p> <p>・児童アンケートにおける「授業で学習者用端末(タブレット)を週に 3 回程度活用することができた。」の項目に対して、肯定的な「できた」を回答する児童の割合を 70%以上にする。</p> <p>(R7:指標なし) ※R8 以降の児童アンケートに質問項目を追加※</p>	
<p>取組内容②【人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</p> <p>○「ゆとりの日」を毎週設定し、その日は午後 6 時までに退勤するようにする。</p> <p>○時間外労働時間・年休取得日数の見える化を図り、教職員の意識向上を図る。</p>	
<p>指標</p> <p>・「ゆとりの日」を毎週設定する。(R7:毎週設定)</p> <p>・教員一人当たりの平均時間外勤務時間を 23.4 時間以下にする。 (R7:23.5 時間)</p>	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

中間/年度末/次年度への改善点